

平成 27 年

# 乙訓福祉施設事務組合議会第 2 回定例会会議録

開会：平成27年 6 月25日

乙訓福祉施設事務組合議会

## 平成27年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会

### 目 次

○出席議員	1
○欠席議員	1
○事務局職員出席者	1
○説明のため出席した者	1
○議事日程	2
○開 会	3
○日 程 1 会議録署名議員の指名	3
○日 程 2 会期の決定	3
○日 程 3 管理者諸報告	4
○日 程 4 例月出納検査結果の報告	6
○日 程 5 第 6号議案 公平委員会委員の選任について	6
○日 程 6 第 7号議案 専決処分の承認を求めることについて（平成 26年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正 予算（第3号））	7
○日 程 7 議員の派遣について	18
○閉 会	19

平成27年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会  
議事日程

平成27年6月25日(木)

午前10時00分開議

○出席議員(9名)

向日市	飛鳥井佳子議員	新矢宗弘議員
	常盤ゆかり議員	
長岡京市	白石多津子議員	武山彩子議員
	三木常照議員	
大山崎町	辻真理子議員	波多野庇砂議員
	森田俊尚議員	

○欠席議員

なし

○議会事務局職員出席者

半田麻子書記

○地方自治法第121条の規定により、説明のために出席した者(11名)

安田守	管理者(向日市長)
中小路健吾	副管理者(長岡京市長)
山本圭一	副管理者(大山崎町長)
岩崎英樹	監査委員
藤本正次	事務局局長
大八木貴之	会計管理者(向日市会計管理者)
河原崎清隆	事務局次長兼総務課長
石野功一	乙訓若竹苑施設長
渡辺三知雄	乙訓ポニーの学校施設長
関本信夫	介護障害審査課長
中川仁夫	障がい者相談支援課長

○議事日程

日程 1	会議録署名議員の指名
日程 2	会期の決定

- 日程 3 管理者諸報告
- 日程 4 例月出納検査結果の報告
- 日程 5 第 6号議案  
公平委員会委員の選任について
- 日程 6 第 7号議案  
専決処分の承認を求めることについて（平成26年度乙訓福祉施設  
事務組合一般会計補正予算（第3号））
- 日程 7 議員の派遣について

○会議録署名議員

長岡京市	三木常照 議員
大山崎町	辻真理子 議員

(開会 午前10時00分)

○波多野庇砂議長 おはようございます。

ただいまの出席議員数は9人であります。

それでは、ただいまから、平成27年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を開会いたします。

日程に入ります前に、先般、向日市長選挙で当選され、管理者になられました安田守管理者から発言の申し出がございますので、これを許可いたしましてご挨拶をお願いしたいと思います。

○安田 守管理者 皆さん、おはようございます。

議長のお許しをいただきまして、貴重なお時間をお借りしまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

このたび、乙訓福祉施設事務組合の管理者に就任いたしました向日市長の安田守でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

現在、福祉行政におきましては、地域社会での共生の実現に向けて、関係法律や制度が大きく変化する中、地域住民の皆様のニーズは多様化しております。当組合におきましても、構成団体であります乙訓二市一町がしっかりと連携し、議長初め議員の皆様や住民の皆様のご理解、ご支援を賜りながら、事業を推進しなければならぬと存じております。

今後とも管理者として圏域の課題を認識し、組合職員ともどもその任に当たる所存でございますので、皆様のご指導、そしてご協力をよろしくお願ひ申し上げます。本日はどうもありがとうございます。

○波多野庇砂議長 ありがとうございます。

それでは、これより日程に入ります。

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第75条の規定によりまして、長岡京市の三木常照議員、大山崎町の辻真理子議員を指名いたします。

○波多野庇砂議長 日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今定例会の会期は、本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、会期は本日1日限りといたします。

○波多野庇砂議長 日程3、管理者諸報告であります。

安田管理者。

○安田 守管理者 本日、ここに平成27年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、ご多忙の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

諸報告に入ります前に、去る4月1日付の人事異動に伴いまして、乙訓若竹苑施設長に石野功一氏が、障がい者相談支援課長に中川仁夫氏が、乙訓ポニーの学校施設長に渡辺三知雄氏が就任いたしましたので、ご紹介いたします。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 石野でございます。よろしくお願ひします。

○中川仁夫障がい者相談支援課長 中川でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○渡辺三知雄乙訓ポニーの学校施設長 渡辺です。よろしくお願いします。

○安田 守管理者 それでは、私から3月定例議会以降の報告をさせていただきます。

最初に、総務関係でございます。

職員の人事異動につきましては、管理職員以外に、係長級3名、主査級3名の昇任を行い、新規職員として指導員2名を採用いたしました。

次に、若竹苑の関係でございます。

現在の利用者数でございますが、就労継続支援事業37名、生活介護事業6名の合計43名でございます。市町別では、向日市8名、長岡京市27名、大山崎町5名、京都市3名となっております。また、地域活動支援センター事業の登録者数は22名で、市町別では、向日市7名、長岡京市11名、大山崎町4名となっております。日中一時支援事業の登録者数は48名でございます。

なお、就労移行支援事業につきましては、平成23年度より利用者がなく、今年度から休止することとなりました。

また、昨年度から若竹苑でも指定特定相談支援事業を始めており、計画相談と一般相談をお受けしております。平成26年度の計画相談の実施件数は、計画作成29件、モニタリング17件でございます。施設設備面では、施設改修計画に基づき若竹苑の空調設備の全面改修を行いました。

次に、各事業についてでございますが、就労継続支援事業では、平成26年度工賃向上計画実施状況の報告書を府に提出いたしました。なお、26年度は平均工賃額が1万6,866円でございます。

生活介護事業におきましては、5月12日にご家族の参観を兼ねて調理レクリエーションを実施いたしました。地域活動支援センター・日中一時支援事業につきましては、利用者の増加に伴い、今年度から日中一時支援事業の1日の利用定員を3名から4名に増やしております。

次に、介護障害審査課の関係でございます。

まず、介護認定審査会の平成26年度の審査判定結果でございます。お配りさせていただいております資料の1ページ目にその概要を記載いたしておりますが、合議体を延べ216回開催し、5,946件の二次判定を行いました。

また、本年4月、5月の2カ月間の審査状況でございますが、2ページ目のとおり、合議体を36回開催し、1,028件の二次判定を行いました。

次に、障害支援区分認定審査会の平成26年度の審査判定結果につきましては、資料の3ページ目でありませんが、合議体を延べ24回開催し、212件の二次判定を行いました。本年4月、5月における審査状況は、4ページ目のとおり、合議体を4回開催し、54件の二次判定を行いました。

なお、介護認定審査会委員及び障害支援区分認定審査会委員の任期満了に伴い、本年4月2日に、乙訓地域の医療・福祉・保健の各分野からご推薦をいただきました介護認定審査会委員72名及び障害支援区分認定審査会委員11名の皆さんに新たに委員としてご就任いただいたところでございます。

委員の皆様には、平成29年3月末までの2年間、それぞれの審査会におきまして、公平・公正な二次判定に携わっていただき、乙訓地域の福祉の推進にご尽力いただくこととなっております。

なお、介護認定審査会は、今後、増加していく高齢者に伴い審査件数が増えていくことを踏まえ、審査委員を63名から72名に増員し、合議体を9から18に増設するなど、体制の強化に取り組んだところでござ

ざいます。

次に、障がい者相談支援課の関係でございます。

乙訓圏域障がい者自立支援協議会につきましては、5月22日に31関係機関・団体による全体会が開催されました。全体会では、平成26年度における協議会の事業報告と、平成27年度の事業計画として、26年度に引き続き、3専門部会と3プロジェクトを継続実施することが了承されました。

乙訓障がい者虐待防止センターでは、保健所、二市一町の行政と共同し、サービス提供事業所や相談支援事業所等と連携しながら事案に対応しております。また、4月に虐待防止啓発カードを作成し、行政並びに各サービス事業所にお配りし、地域への周知に努めさせていただきました。

乙訓障がい者基幹相談支援センターでは、総合的・専門的な相談支援の実施を目指し、困難事例を各市町や各相談事業所と協議し、対応しております。また、6月18日に、地域の相談員の専門性向上のため、「相談支援従事者初任者研修」を実施いたしました。

最後に、ポニーの学校の関係でございます。

4月からの利用児につきましては、向日市28名、長岡京市52名、大山崎町10名、合計90名となっております。行事等につきましては、年間実施計画に従いまして、5月22日に春の遠足を実施いたしました。また、6月16日に両親教室を開催し、卒園児の保護者をお迎えして就学へのアドバイスをしていただきました。

報告は以上でございます。

○波多野庇砂議長 以上で管理者諸報告を終わります。

日程4、例月出納検査結果の報告であります。

監査委員の報告を求めます。

岩崎監査委員。

○岩崎英樹監査委員 それでは、私からご報告申し上げます。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づく例月出納検査を、平成27年3月25日、4月22日及び6月8日に実施いたしましたので、同法第235条の2第3項の規定によりご報告いたします。

検査の結果につきましては、お手元にお配りいたしました報告書のとおりでございます。なお、報告書にありますとおり、各月の出納などにつきましては適正に処理されておりました。

以上で例月出納検査結果の報告を終わります。

○波多野庇砂議長 以上で例月出納検査結果の報告を終わります。

日程5、第6号議案、公平委員会委員の選任についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

安田管理者。

○安田 守管理者 第6号議案、公平委員会委員の選任について、ご説明申し上げます。

公平委員会委員小林加奈子氏は、平成27年6月30日をもって任期満了となります。その後任の委員には、引き続き同氏を選任いたしたく、地方公務員法第9条の2第2項の規定によりまして提案するものでございます。

なお、同氏の略歴につきましては、参考資料のとおりであります。

以上、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○波多野庇砂議長 説明が終わりました。

お諮りいたします。

本件につきましては、質疑、討論を省略して、直ちに採決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、直ちに採決いたします。

第6号議案について、同意することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第6号議案は同意することに決しました。

○波多野庇砂議長 日程6、第7号議案、専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

安田管理者。

○安田 守管理者 第7号議案、専決処分の承認を求めることについて、ご説明申し上げます。

専決処分を行いましたのは、平成26年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算(第3号)でございます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の整理を行うもので、歳入歳出予算の総額から、それぞれ36万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ3億9,333万5,000円とするものでございます。

これらは、財源措置の関係から急を要し、年度末に議会を招集する時間的余裕がないと認めましたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったもので、同条第3項の規定により、これを報告し承認をお願いするものであります。

なお、詳細につきましては、この後、事務局長から説明いたしますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○波多野庇砂議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 それでは、引き続きまして、補正予算(第3号)について、ご説明いたします。

初めに、歳入から説明させていただきます。補正予算の4ページをご覧ください。

款1分担金及び負担金、項2負担金、目1障害福祉サービス事業負担金を382万2,000円減額するものでございます。これは、主に若竹苑の就労継続事業の利用者の方が、年度途中で就職等の事情で4名退苑されたことによりまして、支援費収入が減収となったことによるものでございます。

次に、目3障害児通所支援等事業負担金を34万2,000円増額するものでございます。これは障害児相談支援事業の相談件数が当初見込みよりも増加した結果、増収となったことが主な要因でございます。

次に、款2国庫支出金と、款3府支出金でございますが、これはいずれも障がい者虐待防止センターに係る補助金でございます。年度開始後の補助制度の改正によりまして、府と国の補助割合と補助金額が変更になったものでございます。

次に、5ページをご覧ください。

款4財産収入、項2財産売払収入、目1物品売払収入で、213万9,000円を増額するものでございます。これは若竹苑の授産事業の売上金の増収によるものでございます。



次に、款6 諸収入、項2 雑入、目1 雑入で、28万7,000円を増額するものでございます。これは旧ポニーの学校の跡地を、隣接する幼稚園が改修工事をされる際に、資材置き場として一時的にお貸しした際の賃貸料金でございます。

引き続きまして、歳出についてご説明いたします。

款3 民生費、項1 社会福祉費、目1 若竹苑管理費で、146万5,000円を減額するものでございます。これは職員の異動等によります人件費の減額でございます。

次に、目2 若竹苑授産事業費で、213万9,000円を増額するものでございますが、これは先ほど歳入の説明でも触れました、若竹苑の授産事業の増収分を利用者の作業工賃と必要経費に充てるものでございます。

次に、目3 介護保険認定事業費で、26万4,000円の減額ですが、これは節8の報償費で、介護保険の認定審査件数が当初見込みから減少したことによりまして、かかりつけ医意見書作成謝礼を69万円減額し、その一方で、節13 委託料で、介護保険法の改正に伴う、要介護認定支援システムの改修経費として42万6,000円を新たに計上したものでございます。

次に、目4 障害程度区分認定事業費で、28万8,000円の減額でございます。これは審査件数の減少に伴う、かかりつけ医意見書作成謝礼の減額でございます。

次に、目6 障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業費で、48万8,000円を減額するものでございます。これは職員の異動に伴います人件費の減額でございます。

最後に、項2 児童福祉費、目1 ポニーの学校管理費でございますが、これは歳入との関連によります財源の内訳補正でございます。

以上、簡単ではございますが、説明とさせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○波多野庇砂議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

○波多野庇砂議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 若竹苑の授産事業収入が増収になって、大変よかったと思うんですけど、安田管理者からのご報告で、1万6,866円ですかね、平均作業工賃が。私、何度も、今までも申し上げてきたんですけども、年間通してできる収益の上がる事業、この取り組みを、例えば関東の方ではダリア園をつくって、そのダリアは年中仕事があるし、その球根が高く売れるし、割とつくりよいということとか、そういういろんな、年間通してカブトムシをたくさん育てて、高いものは一匹100万円ぐらいで売れるものもあると、ヘラレスカブトとか、何かそういう事業を起こしてほしい。

だけど、それはなかなか大変なことと思うんですけども、それに当たっては、やっぱり3市長さんが管理者で出ているので、各市でこれから高齢化社会で、シルバーさんが多いですよ、だからそのシルバー人材センターに請負を発注して、ある程度お手伝いをしてもらいながら、1年通して障がい者が働いて、ある程度、2、3万円の収入が得られるような、そういう、これまでと同じようでは、やはり非常に、1万6,000円ではと思うので、何か新しいそういうプロジェクトみたいなのを考えていただいて、そして高齢者の方々に働きたい人も町中にいらっしゃるし、そういう請負を発注して、何とかそういう事業を研究していただけないかなというのを、申し上げているんですけども、それについて、他市のことも研究して

いただいたりとか、お願いしたいんですけども、どのようにお考えでしょうか。

○波多野庇砂議長 安田管理者。

○安田 守管理者 就労、働いてお金をもらうということ、非常にそれは生きがいにもつながりますので、いろんな作業含めて、考えていかなければならないと思っておりますし、今、議員ご指摘の件につきましても、私もまだ存じ上げませんので、いろいろとこれから研究させていただいて、副管理者ともども考えていきたいなと思っております。

○波多野庇砂議長 ほかにございませんか。

辻議員。

○辻真理子議員 ちょっと関連になるんですけども、平均1万6,866円の工賃ということだったんですけども、最高でもらっておられる方が幾らぐらいで、最低の賃金の方がどれぐらいか、もしおわかりでしたら教えていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 最大は、はっきりした金額はちょっとまだ今ここに数字はないんですけども、5、6万円の方がいらっしゃいます。

最低は、やっぱりもう来られない方、そういう方はもうゼロに近い形です。平均が1万5,6,000円ということです。

○波多野庇砂議長 辻議員。

○辻真理子議員 きっと、来られること自体が生きがいになっておられるということで、収入を得て、またそれを自分のためであったりとか、ご家族に対して何か買うという喜びもあると思いますし、きっと、ご家庭というか、親御さんでは、卒後の行き場所がない方にとっては、来る場所があるだけでも本当に助かるという親御さんもきっとおられると思うので、またそこら辺、いろんな情報収集させていただいて、また、やはり工賃というのは、得て、すごく幸せになることも大きいと思いますので、それを要望とさせていただきます。

またちょっと違う件なんですけれども、先ほどの4ページにありました歳入の、障害者福祉サービスの事業負担金の中で、年度途中の退苑の方が4名おられるということでしたが、実際4名の方が全て就労継続のほかの施設に行かれたのか、また、違う、例えば生活介護とか、違うところに行かれたのか、もしおわかりでしたら教えていただきたいんですけど。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 昨年度、2名の方が就職ですね、一般就職、企業の方に就職されました。2名の方が、さらにほかの施設にかわられた、継続から継続へという形です。

○波多野庇砂議長 ほかに、ございませんか。

森田議員。

○森田俊尚議員 最近、障がい者の就職率が8.6%ですか、昨年と比べれば上がったというような報道もあったりしていて、京都府内でも千九百何人からの就職があったというようなことも報じられている中で、今、2名というようなことをおっしゃってましたけども、その辺の取り組みについて、何か新しい情報とか、また今後も含めて、どういうふうに、そういう連携等を進めておられるか、その辺の背景、ちょっと教えていただけますか。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 今後につきましては、力のある方というのが、もうほとんど就職されて、これから、ちょっとこんな、毎年2名とかいう形はちょっと難しいかなということを考えてます。

しょうがい者就業・生活支援センターですか、そちらの方と連携させていただいて、就職の方は進めさせていただいております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 今おっしゃってた、京都府も随分と力を入れておられますので、そういったいろんな支援策が講じられている中で、そういったものをできるだけ、連携というか、リンクさせていただいて、できるだけ、やはり、就職者が、1名、2名よりも3名、3名より4名という形で、やっぱりそれが一つの励みにもなると思いますし、障がい者たちの今後の一つの大きな展望にもつながると思いますので、ぜひともその辺のことを、今後も極力進めていってほしいなと要望しておきます。

ほかの件なんですけども、この議案書の中で、5ページですかね、介護保険認定の支援システム改修委託料というのが、42万6,000円上がっているんですけど、この介護認定支援システムというものは、どこの機械を使っておられるか、私も存じてないんですけどね、こういったときの委託等される場合、システム改修なんかされる場合というのは、もちろんこれは随契か何かなんですかね。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 介護支援システムは、東芝のシステムを導入しております、随意契約というよりも、東芝にもうメンテも全部お願いするという形になります。どうしてもそういうメーカーの対応ということになりますので。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 こちらで自由選択はないということですかね、言うてみたら、上から、この機械を使いなさいという形でおりにてきているものですから、もう必然的にメンテも全てそこで、任さなければならないということで、こちらで選べないということですかね。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 導入当時、やっぱり何社か、見積もり、入札して、平成13年当時、導入します。それから、切りかえ切りかえでやってきてますので、基本的にもう、最初に入れたメーカーをずっと使っているという形になります。途中で切りかえとなると、やっぱりデータの管理とか、そういったことで問題が出てきますので、現在のところは東芝1社でやっております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 それは、例えばほかの市町、例えば京都府とか、全国的に見たときに、どこもが使っておられるシステムと、それに該当するのか、順当するのか、そういうシステムなんですかね、その辺の背景、ちょっと教えてください。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 このシステムは、もともと厚労省、国がソフトを開発して、それを各自治体に配付しております。それを使って各メーカーがそのソフトを使いやすい形で開発した形になっておると。

それで、こういったメーカーはほかにも富士通とか日立とか、NECとか、そういったメーカーがござい

まして、そういった中の、当初に入れるときに、やっぱり入札等しまして、東芝に決定させていただいたという形になっております。大もとになっているベースは、国が出したソフトをそれぞれ使っております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 機械そのものというのは、平成13年に導入されたんですかね。それからずっと、そしたら、何年か経てば、やっぱりメンテというか、機械そのものだってメンテしなければならないですし、入れかえなければならない時期があるんですけども、その辺は、今で言うたらどうなんですかね。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 おおむね5年ごとに、Windowsのソフト、OS、基本的なそういうWindowsを動かす機械そのものが変わってきてますので、今、Windows7を入れてますけれども、当初はWindowsXP、いや、もう一つ前でしたね、XPになって、今現在、Windows7というのを入れてます。

それで、大体おおむね5年ぐらいのスパンで機械を入れかえしてます。これはリースでやってますので、リースそのものも5年リースでやっております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 ハード面は我々が使ってるパーソナルなものだということですよ。いわゆる特殊な機械ではないということで、ソフトだけが国がつくったり、特定のソフトだということですね。それがまた、おっしゃってるように、何年間というようなことで入れかえなければならない時期もあるでしょうし、そのソフトだって、やはりいろいろと、大体5年から7年ぐらいですかね、いろいろ入れかえたりしてるものもあるようですけど、今回、その改修に関しては、大がかりな改修作業なんですか。額面で言うたら少ないから、あまり大きな作業でもないですけど、近々そういう大きな改修時期が来ているとか、そういうものなんですかね。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 今回の改修は、簡単な、そんなに大きな改修ではないです。大きな改修になると、やっぱり300万円、400万円という額がかかってきます。これはシステムが、国が開発したシステムを東芝が東芝に合うように、また改修改良した形で配付してます。

それと、ここの特徴は、二市一町合同で審査しておりますので、それぞれの市町に有線で、NTTの回線を利用して、データのやりとりをしておりますので、多少単独でやっておられるところとは、システムがちょっと違う形になっております。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 今、いろいろと漏えい事件とか、ハッカーとか、いろんな話が出てて、つつい我々の素人考えで、このシステムがどうもないかということを書いてしまうんです。

それと、そういうシステム改修に関して、専門の方が一応来られて、システム改修に携わられると思うんですけども、それも全て丸投げ式でやってても、やっぱりミスというのは中にあるんです。ですから、そのときのちゃんとした対応ができるかなということを、ちょっと私は気になっていたので質問させていただいたんですけども、ちゃんとした方々がおられるので、心配ないと思うんですけども、特にこういうふうな個人情報満載の部分でもありますので、ちょっとしっかりとさせていただけたらと思います。意見としておき

ます。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 念のために申し上げますけれども、このシステムはN T Tの回線を使っておりますけれども、閉鎖系のシステムということで、外には一切情報が出ない形になっているということです。そういったことで、情報の漏えいに関しては、システム上は安心しております。

それと、東芝のシステムは、東芝は国との技術的な連携が非常に強くなっておりまして、そういう面でも、私どもは安心してお任せさせていただいているというところでございます。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 今、お答えしていただいたので、あれですけども、例えば、この乙福の事務をされている方で、そういったことに非常に詳しい方って、誰かおられるんですか。そういったシステムとか、ソフトに精通してる方というか。

○波多野庇砂議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 乙福の職員として、精通というところまでは、ちょっと行かないと思います。残念ながら、そこまでの技術は持ち合わせてないので、ただ、扱いに関しては、十分にそれは熟練していると思っておりますけれども、技術的なことになると、なかなか私らでは対応できない部分もございまして、その辺はもうメーカーにお願いしているという状況でございます。

○波多野庇砂議長 森田議員。

○森田俊尚議員 やはりもう専門的な方を導入して、その方を信じて全てをお任せしているというのが実態であるということですね。わかりました。

○波多野庇砂議長 ほかにございますか。

飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 6ページの障がい者虐待防止センターの件なんですけども、人員配置、きちっと今していただけてるということで喜んでおりますが、48万8,000円減額になってるということで、看板の位置ですけど、いつも申し上げているんですけど、あれ、ほとんどの人、気がつかないですよ、あの貼り方では。

それで、この乙福の関係では、ポニーの学校も若竹苑もすばらしい職員さんで、大変いい環境の中で生活させていただいて感謝しているんですけど、テレビ報道なんかでは、民間の施設では、大変、虐待が、暴力とか、言葉遣いとか、相当ひどいところもあって、そういうのを、啓発の意味でも、この乙訓の福祉施設事務事業の中では問題はないんだけど、目のつくところにそういう看板があると、そういう民間の施設もそういうことがあってはならないということを、気をつけられると思うので、できれば、車に乗っていてもぱっと目につくような看板とか、何かそういうので、虐待防止の啓発としても、看板を、ここで50万円ほど削減になっているしという感じで、ちょっと検討させていただいて、ガレージに今貼ってあるんだけど、大抵の人は見逃してしまうと思うので、そういうことに多くの人に関心を持ってもらえるような、啓発看板の意味でも、少し見えるところにしていただきたいということをお願いしたいんですけど、いかがでしょうか。

○波多野庇砂議長 河原崎次長兼総務課長。

○河原崎清隆次長兼総務課長 ただいまの質問につきましては、以前から議員の方からいろいろとご指摘をいただいてまして、あの看板については、できるだけ早急にとということで、まずできるところから設置をさせていただきますけれども、当初、若竹苑の前にあります電柱に、ここをつくる時には設置したんですが、以後に関しては、許可の問題であったりとか、費用の問題であったりとかということで、なかなか電柱にできてない状況なんですけども、今おっしゃられることも十分わかりますので、今後、またいろいろと検討させていただきますと思います。

○波多野庇砂議長 武山副議長。

○武山彩子副議長 若竹苑の、先ほどの退苑された方のうち2名が一般就労で、もう2名がほかの事業所さんへということで、一般就労の方については、先ほど、辻議員と森田議員に対するご答弁も聞かせていただいております、しょうがい者就業・生活支援センターってアイリスさんということですね。

そこの連携で、うまくいかれたということで、毎年こんなふうに変化に、力のある方で、もともとは一般就労できたらいいなと思いつつ、でも、就労移行支援だと2年限りなのでという躊躇があって、B型にという利用者さんがいらっしゃるということも、数年前にもお聞きしてましたので、そういう方が若竹苑のB型を利用しながら一般就労にということは、本当にほかの利用者さんやご家族の方にも励みになるのではないかなと思ってお聞きしておりました。

その2名の方というのは、今、私が言いましたように、もともとは一般就労も視野に入れて、利用されていた方ということなんですかね。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 力はもう十分に持っておられる方で、一人は、もう自力で、アイリスさんとの連携はしながら、自力で探されたということで、最初はもうアルバイトでいいからということで、アルバイトで入られて、そこから、今はもう正社員に変わられたという話を聞いてます。

もう一人の方は、アイリスさんとも連携してますけども、京都府の福祉から就労へという制度を利用して、それで就職につながったということでございます。

○波多野庇砂議長 武山副議長。

○武山彩子副議長 そういった形で、この何年間かで、でき始めている、障がいのある方が就労できる仕組みづくりで、京都府や乙訓圏域にある事業所さんとの連携というのが、ここに来てようやく成果として実りだした大きなお二人なのかなというふうに思います。

その上でなんですけれども、これから先、就労された方がきちんとそこの就労された企業さんのところでお仕事が、安定してお続けになれるかどうかというのは、やっぱりジョブパートナーみたいなものがない一般就労だと思うので、誰かが見守っていくということをしていただきたいなと思っております、これから先の、その就労された後のフォローって、もう今26年度の補正予算なので、今現在お働きになっていることかと思うんですけれども、働き出して、定期的にその様子を聞いたりとか、そういうフォローアップみたいなものは、例えば若竹苑で計画相談の中でされているとか、アイリスさんがされているとか、少しその辺の、就労後のフォローについてお聞きしたいです。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 就労後につきましては、二人の方、たまに若竹苑に来られるんです。そこでち

よっとお話を聞いたりしてます。こちらから、ちょっと企業さんに行ってという形は今のところはしてません。

○波多野庇砂議長 武山副議長。

○武山彩子副議長 お二人が、そうやって若竹苑、巣立った場所ですので、来られている、雰囲気はちゃんと保てているというのはすごいことだと思いますが、ぜひ、この方ではないけれども、以前に一般就労、せっかくできたけれども、そこで、ちょっとやっぱりしんどくなってやめられたということもお聞きしていて、その後はその方とかご家族さんがどうされているのかなというの、少し心配になりながらなんですが、ぜひ、何か悩みがあったときに、しんどくなったときに、相談、助けを求めるといふ力そのものがあられる方でしたらいいですけども、そうではない場合に、若竹苑が改めて計画相談で受けますよとかということが、ご家族さんや本人さんに伝わっているといいなと思うんですけども、そういった話は、退苑されるときには、されているのでしょうか。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 そこまでの話は、ちょっと若竹苑としてはしてないんですけども、計画相談、今、こちらでしている方については、こちらで聞けますけども、ほかの事業所さん、そちらの方で相談支援されている方については、そちらの方で相談されていると思っているんですけども。

○波多野庇砂議長 武山副議長。

○武山彩子副議長 退苑された方については、若竹苑のサービスを受けておられないので、計画相談も今現在 はされてないということですね。

就労された後も、障がい者福祉サービスそのものは、何らか受けていらっしゃるのではないかなと思って たんですけども、外出支援とか、あっそうか、もう一般就労されている方ですから、そこ、もう必要ないですよね。

そしたら、もう一般就労された後というのは、特に障がいのある方でも、計画相談でちゃんとケアマネジャーさんのような方がつかれるということは、ないということなんですか。そこがわからなくて。

○波多野庇砂議長 石野乙訓若竹苑施設長。

○石野功一乙訓若竹苑施設長 計画相談にかかわっておられる方については、やっぱり就職して、その後、休日の使い方なんかを、何か考えたいということで、地域活動支援センターの方に、そういうところに、一日だけ来られて、そういう形ではあります。

○波多野庇砂議長 武山副議長。

○武山彩子副議長 ありがとうございます。就労された後に、地域の中で安心して暮らせるという、障がいのある方が、そういう、地域に慣れるようにということで、誰かがきちんと就労された後も支援がいつでもできるという目があればなというふうにお聞きしましたので、また引き続きこういうケースが出てくる折々に、お聞きしていきたいと思います。

それと、もう1点、虐待防止センターと基幹相談支援センターの事業費のところ、職員手当が、職員の異動があって減額になりましたということでしたが、これは具体的には、どちらのセンターにかかわっての減額なのかということと、何月時点で異動があったやつなのかというのを、改めて確認でお聞きさせていただきます。

○波多野庇砂議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 これにつきましては、基本的には障がい者虐待防止センターの方の人件費でございます。昨年ご報告いたしましたように、昨年に退職いたしましたので、その時点でも一定減額いたしましたが、その後のこともございましたので、若干不確定要素のところは、そのときにはちょっとのけておきましたので、それを含めて、今回、やらせていただいたということでございます。

○波多野庇砂議長 ほか、ございませんか。

それでは、質問も尽きたようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第7号議案について、原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第7号議案は原案のとおり承認することに決しました。

○波多野庇砂議長 日程7、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第144条の規定に基づき、本日6月25日に実施する本組合議会議員視察研修に全議員を派遣することといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、全議員を派遣することに決定いたしました。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

これにて会議を閉じたいと存じますが、来る7月19日に向日市議会議員の選挙がございます。再びこの議会にお見えになれることもあろうかとは思いますが、ご挨拶をいただきたいと存じます。

常盤議員。

○常盤ゆかり議員 乙訓二市一町の福祉施設事務組合の議員としてかかわらせていただきまして、本当にいろんなことを詳しく教えていただき勉強になりました。ありがとうございます。

特にこの2年間は、監査委員として、本当にいろんな角度で詳しくご説明いただきましたので、非常に勉強になりまして、今後自分の活動に非常に生かすことができるかなと思います。

今、議長もおっしゃられたように、7月19日に市議会議員選挙がありまして、改選となるんですけども、その後どういう形で、私がどういう立場になるかわかりませんが、これからますますこの福祉事業、乙訓の中でも大変重要な役割となると思いますし、ニーズとして求められると思いますので、立場がどうなるかわかりませんが、私なりに福祉事業に対してかかわらせていただきたいと存じます。

これから暑い夏に向かいますので、どうぞ皆様、お体ご自愛いただきまして、元気にお過ごしください。



いと思います。本当にありがとうございました。

○波多野庇砂議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 いろいろとご指導いただきまして、ありがとうございます。地域で小さい子ども会をしてまして、もう30年くらい障がい児さんがよく来られているので、こちらでいろいろお世話になっていることを心から感謝しながら、できればまた戻ってきたいなと思っておりますので、この地域で生きていく子どもたちをどうぞ見守ってやっていただきますように、心からお願い申し上げまして、感謝の気持ちで頑張りたいと思います。どうもありがとうございました。

○波多野庇砂議長 新矢議員。

○新矢宗弘議員 新矢でございます。2年弱、この乙訓福祉施設事務組合、初めてこういう形で担当させていただきまして、2年弱済んだんですが、その間、大変いろんな勉強をさせていただきました。東京の方への、立川、調布の方への視察とか、乙訓二市一町にはない、また、障がいをお持ちの方に寄り添ったサービスが充実されているなど、先ほどもちょっとお話がありましたように、就労支援に対しましても、各企業の方から手を挙げていただき、そこに就職された方、後フォローまできちっとされている、そういう視察もございました。

そういった中で、これからのこの乙訓二市一町の障がいをお持ちの方向けに、ますます充実したサービスを提供していただくようお願いいたしたいと思います。

私ごとではございますが、今期限りで、再挑戦はしないということに決めましたので、いろいろお世話になりありがとうございました。

○波多野庇砂議長 ありがとうございます。

それでは、これもちまして、平成27年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を閉会いたします。ご苦労さまでございました。

(閉会 午前10時52分)

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓福祉施設事務組合議会議長

波多野 庇 砂

会 議 録 署 名 議 員

三 木 常 照

会 議 録 署 名 議 員

辻 真理子